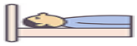
整形外科　大腿骨頸部骨折の手術を受けられる　　様

イベント	入院日		手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後1～3日目	手術後4～9日目	手術10日目	手術11～15日目	退院日
月日	月　　日	月　　日	月　　日		月　　日～	月　　日～	月　日	月　日～	月　　日
到達目標	手術に向けて不安が軽減できる			手術後に起こる苦痛を最小限になる		自立度に応じた日常生活を行うことができる			退院後の生活がイメージできる
治療 薬剤	・緊急入院の場合、持参した薬は、看護師に預けてください。・預けたお薬は、薬剤師が確認します。 	・確認したお薬は、病棟で管理します。 ・足に弾性ストッキングの説明とサイズを測ります。洗い替えの購入が必要です（サイズによっては包帯のこともあります）	・医師から指示されたお薬のみ、内服します。 	・手術した足は、踵の褥瘡予防のため枕を使用します。	・主治医または回診で、傷のガーゼ交換を行います。 ・術後2日目から、骨を強くする飲み薬を始めます。 ・弾性ストッキングは毎日交換します。	・傷の状態を確認し、汚れている場合は交換します。	・医師が足の傷を確認し、絆創膏を除去します。	・歩行できるようになったら、弾性ストッキングは終了です。	[薬剤師より] 内服の説明があります。
処置 検査	・爪は短く切って下さい □現在内服中のお薬 □お薬手帳 □ボールペン（必要書類サインのため） □入院生活に必要な物（アメニティの申し込みは入院後になります） □入院案内 □テープ式おむつ数枚（アメニティ利用の方は必要ありません） □書類	・家族の方も一緒に来院して下さい。	・手術着に着替えた後、点滴をします。 	・手術後に採血とレントゲンがあります。 ・心電図を装着します。 ・定期的に、体温、脈拍、血圧などを測定します	・手術後１日目、抗生剤の点滴をして終了です。 ・手術後１、３日目に採血があります。 	手術後7日目に採血・レントゲン・CTがあります。	手術後10日目に採血があります。	手術後14日目に採血とレントゲンがあります。	・退院は午前10時までになります。 ・転院の場合、指定された時間に転院します。 ・クラークが請求書を届けます
リハビリ				・麻酔が覚めてきたら足首を動かしてください。	[理学療法士より] ・手術後1日目からベッド上でのトレーニングや座位練習、車椅子への移乗を開始します。 ・手術後2日目からリハビリ室にて平行棒内で立位・歩行練習を開始します。	・痛みに応じて歩行器や杖での歩行練習を開始します。 ・自主トレーニングの方法を指導します。 ・階段など自宅環境に応じた動作を練習します。			
活動 安静度		・骨折部の安静のため、入院後はベッド上安静です。痛みに応じて頭を起こすことができます。 ・横を向く時は、ナースコールで看護師を呼んでください。		・手術後は翌日の朝までベッド上安静です。 	・自身で動く許可があるまでは、看護師の介助が必要です。		・リハビリの進行具合で、補助具を使用し、歩行訓練をします。		
食事			・食事・水分制限があります。医師の指示に従ってください。	・手術後の水分は医師の指示により看護師が説明します。それまではお待ちください 	・手術翌日から食事を開始します。 ・栄養士が訪問し、病状や嗜好に適した食事を提供します。 ・食事の選択ができます（医師の指示や食種によっては選択できないものもあります） 				・食事の制限はありません。（生活習慣病のある場合は、医師の指示に従って下さい）
清潔			・午前中に体を拭き、手術衣に着替えます。		・午前中に体拭きをします。 ・週1回洗髪・足浴をします。 		・医師の許可によりシャワー浴が可能となります。		
排泄		・緊急入院の場合、救急外来で尿管を留置することがあります。		手術室で尿管を入れます。	手術翌日に尿管を抜き、車椅子に移乗できれば、痛みに応じてトイレで排泄できます。	リハビリの状況により、車椅子や歩行器でトイレにいきます			
看護	手術に向けて不安が軽減できるよう支援していきます。			手術後に起こる苦痛を最小限にできるよう支援します。		日常生活の自立度に応じて日常生活の援助をしていきます。			退院後の生活に向けて支援していきます。
		入院による環境の変化や身体への負担が軽減出来るよう環境調整を行います							
患者さん・ご家族への説明	ご不明な点は、お電話ください。 ・病院代表 0568-76-4131 入院前日までは 整形外科外来 入院当日は6E病棟にお問い合わせください 	【医師から】 ★入院の説明と治療の説明があります。（外来でお済の方はありません） 【看護師から】 ★説明後、「入院診療計画書」、「同意書」にサインをお願いします。（外来で説明がお済の方は、サイン記入後、提出してください） ★安全確認のため、患者識別のリストバンドをつけていただきます。 ★病棟、入院中の生活、治療の流れを説明します		付き添いの方は、手術終了まで病室またはディルームでお待ちください。 【医師から】 ★手術直後の説明は主治医よりあります。 ★手術後、状態が安定していれば、付き添いの方は帰宅していただけます。	【看護師から】 転院希望、介護保険利用希望などのある場合は主治医、ソーシャルワーカーに相談してください。 	・リハビリ転院の場合、ソーシャルワーカーから連絡があります。ソーシャルワーカーと相談しつつ転院先を決定していきます。	[医師から] ・退院又は転院に向けて、医師から説明があります。 	【看護師から】 ・「退院療養計画書」を基に退院後の生活、次回外来の説明があります。 ・転院の場合、転院先へ持参する書類をお渡しします。 ・事務員が請求書を届けます

患者さんの状態により、スケジュール内容が多少異なる場合があります。経過についてはその都度、個別に説明いたします。　　患者パス作成：2022年3月 2025年6月改訂　　小牧市民病院